

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名　　卵管疋通性検査と不妊治療臨床成績の後方視的検討』

研究機関名　東邦大学医療センター大森病院

研究責任者　産婦人科 助教・氏名　中岡 賢太郎

【研究の目的】

東邦大学医療センター 大森病院 産婦人科では、卵管疋通性検査と不妊治療臨床成績を後方視的に検討することにより、患者満足度(妊娠率の向上、通院期間の短縮、経済的負担の減少、精神的負担の軽減)の向上につながる治療を探すこととして本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、患者さんの患者満足度(妊娠率の向上、通院期間の短縮、経済的負担の減少、精神的負担の軽減)の向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(医学部／東邦大学医療センター大森病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2018年1月～2021年9月までに東邦大学医療センター大森病院

産婦人科において、卵管造影検査を施行された方

方 法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料:採血結果、病理検体 等

情報:病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 等

【外部への試料・情報の提供】

当院に提出された情報を、あなたの個人情報が分からないように管理し、学会、学術誌へ公開させていただきます。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院 産婦人科

研究代表医師:中岡 賢太郎 役職:助教

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはできません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】 東邦大学医療センター 大森 病院 産婦人 科
職位・氏名 助教・中岡賢太郎
電話 03-3762-4151 内線 77549